



「みせろ可美中魂!! 夏季大会・コンクールを振り返って」① (サッカー)



夏季大会は予選から苦しい戦いが続きましたが、一戦一戦、確実に力を発揮していきました。「ここで負けてたまるか」という気迫あるプレーを何度も目にしました。県大会出場権をもう少しで手にできるところまで勝ち進みましたが、あと一步届かず、ベスト8でした。しかし、最後の試合は、二点差から一点を獲り、さらにロスタイムで同点に迫りました。あの一点に「可美中魂」を感じました。会場まで足を運んでくださった方、常日頃から支えてくださった全ての方に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。(谷野・松居・市川)